

事業報告書 (令和3年度)

事業名 ランナー目線からはじまる地域活性化大作戦

団体名 健康生き活き絆会議 担当者名 赤澤 光

※活動の様子がわかる写真(データもお願いします)と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容(日時、場所、参加対象者、人数、内容等)

運動を習慣としているラン仲間の輪を広げながら、お気に入りお薦めコースの策定を目指して、13コースを総勢72名で試走してGoogle Mapにコースを描きました。

しかし、運動習慣の無い多くの方々の健康増進に向けたコースとしてはハード過ぎるため、新たに策定方法を模索していたところ、保健所が作成した「ええとこ発見図」の存在を知り、活用を試みましたがマップの精度が非常に悪く使えないことに気づき、数か所の公民館でヒアリングして同感を得、18公民館の「ええとこ発見図」デジタル版を編集し、18公民館及びスポーツ店等に告知用のA2ポスター各1枚とA4チラシ各100枚を配布しました。また、月に1度王子が岳清掃トレランを実施していますが、6月から街中プロギング(ジョギングしながらゴミ拾い)も月に1度実施しています。

健康生き活き絆会議ホームページも開設し、コースマップや活動紹介(YouTube)等を公開しています。

<https://sites.google.com/view/kizunakaigi/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0?authuser=0>



健康生き活き絆会議 HP

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

数名のメンバーで定期的に公の場所で清掃活動をすることで、その光景に触れた方々への気づきを訴求する。

各地域の活動グループとのコラボレーションを実施すると同時に、それをメディアで紹介して頂く。(富山公民館渋谷館長)

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

※事業内容がESDにどう貢献したか等を記入してください。

ただみんなで走るだけでなく、自分磨きや社会貢献につながるプロギングの魅力に共感して、着実に参加者の輪は広がっています。岡山市環境局環境部環境事業課へ提出したメンバーリストは当初37名から53名に増えています。また、他のラン仲間グループによるプロギング等の活動も多く聞こえてきています。

また、街中プロギング中には、地域の方々からも「ご苦労様」や、お母さんに促されて小さな子供たちから「ゴミ拾いありがとうございます。」との声掛けを多く頂いています。この光景は、小さな子供達の脳裏に深く刻まれていると信じます。

4. 今後の課題と展望

「ええとこ発見図」デジタル版が未だの19地区の整備と、各公民館と連携して地域資源の再整備と、それを活用して頂くことで地域住民の活性化を図っていきたいと思います。近くに仲間がいる、仲間が見つかる、お互いに顔が分かる人と人が繋がれば絆が生まれます。新しい想いも生まれます。そうした地域に根差した仕組みを構築したい。